

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

埼玉県

行事名称	令和元年度（第62回）川越市文化財防火訓練
実施期間・日時	令和2年1月23日（木）午後1時30分～午後2時
実施場所	喜多院・東照宮・日枝神社
主催者	川越市教育委員会・川越地区消防組合・喜多院・東照宮・日枝神社・川越市文化財保護協会

■実施内容

訓練の想定

1月23日の気象状況は、晴れ 北の風：風速4m・湿度20%・実効湿度10%で乾燥注意報発令中。午後1時30分、喜多院慈恵堂香炉付近より出火し、火勢激しく周辺拡大の恐れあり。同1時35分頃、火点北方の庫裡に飛び火し、二次火災が発生。東照宮・日枝神社にも飛び火による火災発生の恐れあり。

訓練の内容

喜多院慈恵堂で発煙筒を焚いて訓練を開始。喜多院自衛消防隊長による通報・避難誘導・初期消火・重要物品の搬出。消防署・消防団から梯子車、科学車、ポンプ車など計10台の消防車両が出動し消火活動を実施。東照宮・日枝神社においても各自衛消防隊員が延焼予防のため放水。10分ほどで火災は鎮火し、東照宮・日枝神社への延焼も免れたとして各隊長に報告。

参加者及び役割分担

喜多院自衛消防隊	(30名) …警戒、119番通報、重要物品の搬出、避難誘導、初期消火
東照宮自衛消防隊	(11名) …警戒、重要物品の搬出、予備放水
日枝神社自衛消防隊	(19名) …警戒、重要物品の搬出、予備放水
消防局及び消防団	(42名) …計画の検討、放水訓練、講評
教育委員会	(11名) …計画の立案・検討、連絡調整
川越市文化財保護協会	(6名) …記録保存

特に工夫した点

- ・訓練会場の3寺社が離れているため、消火活動開始・終了のタイミングの伝達について課題となっていた。そこで、これまで以上にトランシーバーの台数を増やして活用することで連携が図れるようになってきた。
- ・昨年度課題のうち、外国人観光客への対応として、英語表記での案内表示を行った。

問題点・課題

- ・共催している川越地区消防組合や川越市消防団にとっても、日ごろの訓練成果を一般市民に対して披露できる広報活動として力を入れていることもあり、より啓発効果を高めるための広報活動について工夫していきたい。

その他

- ・喜多院・東照宮は長年の訓練により迅速に消火活動ができるようになっている。また、日枝神社についても年の当番に当たる氏子町内が継続的に参加することで同様に訓練経験を重ねてきている。これら3寺社以外でも防火訓練が可能かどうかについて今後とも検討していきたい。
- ・都市景観課でも伝建地区について消火訓練を行っており、こちらと連携することでより啓発効果が高められることが期待できると思われる。そのような連携体制を取ることへの可能性も考えていきたい。

訓練風景

(別紙参照)

喜多院



東照宮



日枝神社

